

令和8年度 商業振興補助事業審査委員会（第1回）議事録

- 1 日時 令和8年4月23日(月)14時20分～16時00分
- 2 場所 横須賀市役所2号館6階261会議室
- 3 出席委員 大場 保男 (中小企業診断士)  
渡利 恭明 (中小企業診断士)  
安食 静二 (INPIT 神奈川県知財総合支援窓口)  
鈴木 博明 (神奈川県産業労働局商業流通課主任専門員)  
小幡 純 (横須賀商工会議所 産業・地域活性課長 兼 情報企画課長)  
島崎 恭光 (横須賀市文化スポーツ観光部商業振興課長)

4 事務局 文化スポーツ観光部商業振興課 三本木課長補佐、熊野、牧野

5 傍聴者 0名

6 委員の紹介について

(1) 委員の紹介について

令和7年度からの2年任期の途中だが、昨年度末に1名退任となったため、令和8年度より後任として新たに加わる委員（小幡委員）の紹介。

7 議事内容

(1) 審査スケジュールについて

(事務局)

本日は、にぎわいづくりイベント事業4団体の審査を予定している。

(2) 審査方法について

(事務局)

【にぎわいづくりイベント事業】

にぎわいづくりイベント事業は採点を行わず、より良い事業を実施するための意見や助言等をいただきたい。

### (3) にぎわいづくりイベント事業

#### ・ドブ板通り商店街振興組合 質疑応答

(委員)

前回のサブサンドの評判はどうだったか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

実績報告に記載している。成果は出ている。

(委員)

第一弾は何店舗参加したか？

(ドブ板通り商店街振興組合)

第一弾は16店舗が参加した。

(委員)

サブドックとして認定する条件はどのようなものか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

海上自衛隊のレシピ通りに作ることが条件で認定している。

(委員)

潜水艦ならではのレシピ・ストーリーはあるか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

ストーリー性はない。

(委員)

ストーリー性はあった方がいいと思う。

(委員)

遠方からの来訪はあったか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

遠方から自衛隊ファンが来た。

(委員)

サブドックは潜水艦ならではのレシピなのか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

パンの日持ちがしないのでいままではパン自体潜水艦職になかった。

同じレシピだと飽きるので工夫が凝らされている。

(委員)

潜水艦学会のようなものがあったら面白いと思う。

(委員)

ファンで全ての店のドックを食べる人いるか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

いる。コンプリートする人は多い。今年は開始3日でコンプリートした方がいる。今年はPRタイムズを利用し力をいれた。

(委員)

サブドックイベントの継続、恒常的な実施は考えているか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

イベントが終わった後も任意で出してもいいことにしている。

(委員)

ブランドサイト等を立ち上げ、販売を継続してはどうか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

現状は検討していないが参考にする。

(委員)

サブドック・サンド双方継続展開してブランディングをし、せっかくの機会なので継続売り上げにできればよいと思う。

(委員)

ハロウィンイベントについて、ドブ板通り商店街の顧客層との相性を踏まえ、ターゲットを大人向けに設定して企画内容をマッチングさせる。あわせて、大人向けへの期待値が高い来街者に響くよう、演出やコンテンツをアレンジしてはどうか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

米軍基地に近いこともあり、この層も取り入れていきたい。

(委員)

サブドックの価格帯はどのくらいか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

1200円から2000円くらいで販売している。

(委員)

サブドックは作るのにはどれくらいの時間がかかるか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

店によって作成時間は変わる。

(委員)

イメージとしては注文後すぐに出てくるイメージ。

ホットドックは早いというイメージがあるので、待たされたというクレームも来るとも想定したほうがいいかもしれない。

(委員)

キッチンカーがある店舗はどのくらいか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

18店舗中2店舗にキッチンカーがある。

(事務局)

外国籍の方も利用するか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

利用される方もいる。

(ドブ板通り商店街振興組合)

飲食だけではなく物販も合わせたイベントとして開催できたことの意義が大きかった。

(委員)

飲食と物販の両方をおこなえていることで商店街らしさが出ていていいと思う。

今回の景品は購入できるか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

限定カラーを景品にしているため購入はできない。限定性を持たせている。

(委員)

Tシャツ以外の物販はあるか。

(ドブ板通り商店街振興組合)

前はワッペンも対象としたが単価が安く、ワッペンの購入でスタンプを押されてしまうことが多かった。スタンプ押印にかかる価格帯を横ならべにするために今回はなしにした。

・若松商店街振興組合 質疑応答

(委員)

イルミネーションにかかる経費は、年々上がっているか。

(若松商店街振興組合)

物価高騰もあり、上がっている。

(委員)

電気代も上がっているか。

(若松商店街振興組合)

上がっている。

(若松商店街振興組合)

プライムビルの年会費がなくなったことで運営的に厳しくなった。

(委員)

飾りつけによる売り上げ目標は今年も作っているか。

(若松商店街振興組合)

天候に左右される要素ではあるが目標は設けている。

(委員)

目標達成(売り上げ 10%up) するための方法や検証については考えているか。

(若松商店街振興組合)

数値の取り方が難しい。ヒアリングにより数値検証は行う予定。

(委員)

他の店はこのイベントに合わせてなにか実施するか。

(委員)

お祭り目当ての飲食利用、特別メニューをだして客単価をあげればどうか。  
また、明かりは心理的効果があるので、お祭りの時以外にも工夫してはどうか。

例えば、お祭り時は提灯、クリスマス時はイルミネーションなど。

・ヨコスカダウタウンクラブ 質疑応答

(委員)

街市横須賀の出店、40ブースは埋まるか。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

40ブースは埋まっている。キッズフェス時は30弱のブースが埋まる。

(委員)

飲食ブースは出店するか。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

出店する。15ブースでた。追加で2ブース用意した

(委員)

使用するテントは主催者のものか。また倉庫・保管場所はあるか。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

テントは主催者のもの。青で統一している。管理する場所もある。

テント、机、椅子等はそこに置いている。

(委員)

街市の出店料はいくらか。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

出店料は4000円。

(委員)

電源はあるか。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

ポータブル電源を持参してもらっている。

(委員)

飲食関係、ガスを使つての調理はあるか。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

ある。

(委員)

保健所に届け出をするか。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

届け出している。

(委員)

団体活用のPRはやっているか。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

している。相談系の応募が多い(弁護士、市民活動、募金(能登震災)など)

(委員)

野球チームなどの地域団体のPR希望は来るか。

(ヨコスカダウタウンクラブ)

募集がきたら通常通り審査をして通す形になる。

(委員)

余るようであれば地域協力枠としてもいいのではないか。

(委員)

スリッパ卓球はどうか。

(ヨコスカダウンタウンクラブ)

自発的に取り組みを行ってくれる。必要機材一式は実施団体が用意する。

(委員)

子どもの職業体験はどうだったか。

(ヨコスカダウンタウンクラブ)

喫緊のイベントでは走り方教室を実施した。

(委員)

他のところではアナウンサー教室とかやってる。また、もっと簡単なお店屋さんとかもいい。ぜひ検討していただければ。

職業体験はいろいろな目的があるが、出店者側の意図としては将来自身の職を目指してくれるようなリクルート目的に近い考えがある。

(ヨコスカダウンタウンクラブ)

去年は教育委員会がキッズジョブやっていて視察したが座学が多い印象で体験型ではなかった。

トヨタに声掛けした(車整備)が今回は見送られた。

走り方教室以外にスポーツに関連するものは想定している。

去年のハロウィンはラーメン市やった。4店舗の食べ比べをストリートでできるものを実施した。食というテーマ性を持たせた。

(委員)

街市を子供に手伝って体験してもらうのはどうか。子どもがお店に出ることで集客も望めるし、子どもにとってもよい体験となる。

・一般社団法人リドレ商店会 質疑応答

(委員)

マルシェ、出品に山形からの干し柿があったが山形から人が来てくれたのか。

(一般社団法人リドレ商店会)

山形から商品を送ってもらい、通いで来ていただいた。

1日平均10万ほどの売り上げがあった。

(委員)

山形以外での実施は過去にあるか。

(一般社団法人リドレ商店会)

一度地震があったときに熊本の方がいらしたことがある。

今年で3回目となり、だいぶお客さんもついた。

まちかどライブ10周年をYTYでやる。10周年のお祝いにリドレの歌を作ってもらい、5月2日に披露した。

(委員)

今回のように音楽を通じた地域貢献は役立っているか。

(一般社団法人リドレ商店会)

役立っている。お互いになじみがあるので宣伝していこうと話している。

10周年は花束の贈呈や子どもたちのダンス披露でにぎわった。

(委員)

のど自慢大会は実施するか。

(一般社団法人リドレ商店会)

実施したい。衣笠から実施の好評を聞いた。

リドレを使って周りを巻き込んでいきたい。

やり方については模索していく。例えば各商店会理事長に1-2曲歌ってもらうなど。

(委員)

衣笠はのど自慢かつ参加者のコスプレもあり、にぎわった。

フォトコンテストも実施し好評であった。

(委員)

集客をされる中で売り上げの増加、個展内での特別な取り組みではどんなアプローチをしたか。

(一般社団法人リドレ商店会)

チラシ内に掲示をおこなった。抽選会実施時は売り上げが2割あがった。

(委員)

客数は変わらずとも単価にプレミアム性を持たせて売り上げをあげてはどうか。

(一般社団法人リドレ商店会)

カフェドクリエでは商品券でお茶をのむとドーナツをプレゼントする取り組みを行った。

## 商業振興補助事業審査委員会 次第

日 時 令和8年4月23日(木) 14時00分～

会 場 横須賀市役所 2号館 6階 261会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 商店街にぎわいづくり事業補助金の審査について

ア にぎわいづくりイベント事業

(2) その他

3 閉 会

## 商業振興補助事業審査委員会条例

## (設置)

第1条 本市の商業の振興を図るための補助金に対して交付申請のあった事業の審査に関し、市長の諮問に応ずるため、商業振興補助事業審査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

## (組織)

第2条 委員会は、委員6人をもって組織する。

2 委員は、商業振興に関し専門知識を有する者及び市職員のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (委員長)

第3条 委員会に委員長を置き、委員が互選する。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

## (会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

## (委員以外の者の出席)

第5条 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

## (その他の事項)

第6条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の同意を得て委員長が定める。

## 附 則

## (施行期日)

1. この条例は、平成25年4月1日から施行する。

## (経過措置)

2 第2条第3項の規定にかかわらず、この条例の施行後初めて委嘱され、又は任命された委員及び部会員の任期は、平成26年3月31日までとする。

## 附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

## 商店街にぎわいづくり事業補助金交付要綱

### (総則)

第1条 地域の特性に対応した機能を高め、活力とにぎわいのある商店街づくりを進めるため、市内商店街団体が行う事業に対する補助金の交付については、補助金等交付規則（昭和47年横須賀市規則第33号。以下「規則」という。）に定めがあるもののほか、この要綱の定めるところによる。

### (定義)

第2条 この要綱において、次に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 商店街団体 商業者等が地域的に組織した次に掲げるものをいう。

ア 商店街振興組合

イ 商店街協同組合

ウ ア及びイに掲げるもののほか、法人化された商店街団体

エ アからウまでに掲げるもののほか、任意の商店街団体で市長が認めるもの

(2) コミュニティスペース 商店街利用者の交流を図ることができる場所のことをいう。

### (補助対象事業)

第3条 補助の対象となる事業は、商店街団体が行う次に掲げる事業で、第1号に掲げる事業については原則として補助金の交付申請を行った年度内に完了するものとし、第2号、第3号及び第4号に掲げる事業については、補助金の交付申請を行った年度を含めて3年度までの間に完了するものとする。ただし、市長が特に認める場合は、この限りでない。

(1) にぎわいづくりイベント事業 次に掲げる販売促進を伴うイベント等の事業をいう。

ア まつり等の催物

イ 各種教室及び講習会

ウ 各種コンクール及び展示会

エ 期間を限定した大売出し

オ その他市長が適当と認める事業

(2) 集客力向上モデル事業 将来にわたって商店街の競争力や集客力強化を図るために、次に掲げる新規性や独創性のある事業で、かつ、取組みや効果に継続性や持続性があると認められるものをいう。

ア 子育て世帯（18歳未満の子が同居する世帯をいう。）の商店街利用を

促進するサービスの提供

イ 高齢者及び障害者が安心して利用できる商店街にするためのサービスの提供

ウ 商店街独自の商品の開発

エ 商店街活性化に関する事業計画の策定、事業の運営等に係るコンサルタントを活用

オ その他市長が適当と認める事業

(3) 商店街地域資源活用事業 商店街団体が各々の地域資源を活用し、当該商店街の活性化を図るための事業

(4) 商店街空き店舗活用事業 商店街団体が魅力や集客力向上のために、商店街内の空き店舗を新たに借り上げ、コミュニティスペースを作成し、年間を通じて様態を変えて運用する事業

2 前項第2号に掲げる事業にあつては、同一の商店街団体が既に補助金を受けた際の事業内容と類似した内容の場合は、補助の対象としない。

(事業の公募)

第4条 補助金の交付を受けようとする商店街団体は、市長があらかじめ指定した期間内に希望調書を作成し、市長に申請するものとする。

(事業の選定)

第5条 市長は、前条の希望調書の提出を受けたときは、その内容を審査し、適当と認めるときは補助対象の事業として選定するものとする。この場合において、市長は、必要に応じ、当該希望調書を提出したもの及び商店街の振興に関し専門的知識を有する者の意見を聴くものとする。

(補助対象経費)

第6条 補助対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、前条の事業の実施に要する経費のうち、次に掲げるものとする。

(1) 施設及び設備の借上料

(2) 施設及び設備（第2条第1号エに該当する商店街団体が行う第3条第1項第1号、第2号及び第3号に掲げる事業にあつては、減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年3月31日大蔵省令第15号）で規定する耐用年数3年以内のものに限る。）の購入費

(3) 装飾費

(4) 印刷費（開催案内、宣伝ポスター等）

(5) 教材費（テキスト等事業の実施に直接必要なもの）

(6) 報償費（講師謝金、商店街モニター謝金等）

(7) 委託費

(8) 原材料費

(9) その他市長が必要と認める経費

2 前項の規定にかかわらず、補助の対象となる事業の実施に伴う事業収入の額及びこの要綱の規定による補助金と同様の趣旨の他の補助金等の交付（国、県その他団体によるものを含む。）を受けている場合における当該補助金等の額については、補助対象経費の総額から差し引くものとする。

(補助金額)

第7条 補助金額は、予算の範囲内において、次の表の左欄に掲げる事業区分に応じそれぞれ同表の中欄に定める補助金額（同表右欄に掲げる額を限度とする。）を合計した額とする。

事業区分	補助金額		補助限度額
第3条第1項第1号に掲げる事業	補助対象経費の総額÷3 ただし、補助対象経費の総額の下限額は30万円とする。		200万円
第3条第1項第2号に掲げる事業	補助対象経費の総額×2÷3 ただし、補助対象経費の総額の下限額は30万円とする。		200万円
第3条第1項第3号に掲げる事業	補助対象経費の総額×2÷3		100万円
第3条第1項第4号に掲げる事業	第6条第1項第1号のうち、空き店舗の借上料	補助対象経費の総額÷2	100万円
	空き店舗の借上料以外の経費	補助対象経費の総額÷2	50万円

2 前項の規定により算出した補助金額に1,000円未満の端数があるときは、その端数金額は切り捨てるものとする。

(申請手続き等)

第8条 第5条の規定により選定された商店街団体は、市長があらかじめ指定した期間内に補助金等交付申請書を提出しなければならない。

2 規則第4条第3号に規定する補助金の交付申請に添付するその他の参考と

なる書類は、次に掲げるものとする。

- (1) 商店街団体会則
  - (2) 商店街団体会員名簿
  - (3) 当該事業の実施について議決した総会等の議事録の写
  - (4) その他市長が必要と認める書類
- (書類等の保管)

第9条 規則第8条に規定する書類及び帳簿等は、当該補助事業の完了した市の会計年度の翌年度から5年間保管しなければならない。

(実績報告)

第10条 規則第10条に規定する市長の定める書類は、次に掲げるものとする。

- (1) 事業内容が確認できる書類
- (2) 商店街にぎわいづくり事業収支明細書(別記様式)
- (3) 補助対象経費に係る支払領収書の写
- (4) その他市長が必要と認める書類

附 則

この要綱は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この要綱は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 生き生き商店街サポート事業補助金交付要綱（平成20年4月1日制定）は、廃止する。

附 則

- 1 この要綱は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 空き店舗出店奨励金交付要綱（平成21年3月4日制定）は、廃止する。

附 則

この要綱は、平成26年8月18日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

別記様式（第10条関係）

商店街にぎわいづくり事業収支明細書

（収入の部）

（単位 円）

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
市 補 助 金			
自 己 資 金			
そ の 他			
計			

（支出の部）

（単位 円）

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
計			

# タイムスケジュール

資料 2

資料 NO.	時間	事業区分				団体名	事業名
		モデル	地域資源	空き店舗	にぎわい		
	14:20 ~ 14:30	開会あいさつ、委嘱、審査会実施方法の確認 等					
4-1	14:30 ~ 14:50				○	ドブ板通り商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀ドブサブFES2026</li> <li>・ハロウィンフェスティバル</li> <li>・ドブ板バザール&amp;横須賀トモダチジャズ</li> </ul>
4-2	14:50 ~ 15:10				○	若松商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀中央地区下町祭礼</li> <li>・街区内アーケード下等に提灯装飾事業</li> <li>・イルミネーション装飾事業</li> </ul>
	15:10 ~ 15:20	休憩(10分)					
4-3	15:20 ~ 15:40				○	ヨコスカダウンタウンクラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街市一よこすか</li> <li>・キッズフェスティバル2026</li> <li>・ハロウィンフェスティバル2026</li> </ul>
4-4	15:40 ~ 16:00				○	一般社団法人リドレ商店会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LIDREマルシェ</li> <li>・LIDRE街角ライブ</li> <li>・LIDRE感謝祭</li> <li>・イルミネーション装飾事業</li> </ul>

## 1 商店街にぎわいづくり事業補助金 審査方法について

## (1) 補助金申請区分について

商店街にぎわいづくり事業補助金には、以下の4種類の申請区分を設けています。

## ア にぎわいづくりイベント事業

対象事業：商店街が賑やかしや集客などのため、主に定期的に取り組んでいる販売促進を伴うイベント等の事業。

補助率：1/3

限度額：200万円

## イ 集客力向上モデル事業 ※採択事業

対象事業：商店街が新たに取り組む、将来にわたって商店街の競争力・集客力強化を図る新規性・独創性があり、かつ取り組みや効果に継続性・持続性がある事業。

補助率：2/3

限度額：200万円

## ウ 商店街地域資源活用事業 ※採択事業

対象事業：商店街が既に商店街の地域内で認知されている本市地域資源を活用し、地域外へのPRを進め、商店街の活性化を図るための事業。

補助率：2/3

限度額：100万円

## エ 商店街空き店舗活用事業 ※採択事業

対象事業：商店街が魅力や集客力向上のために、新たに、商店街の空き店舗を借り上げ、それを活用してコミュニティスペース等を作成し、年間を通じて、様態を変えて運用する事業。

補助率：1/2

限度額：最大3年間の継続補助とする

	1年目	2～3年(予定)
家賃	100万円	100万円
家賃以外の経費	50万円	30万円

## (2) 審査の実施目的について

申請区分ごとに以下の目的で審査を行います。

### ア にぎわいづくりイベント事業

審査目的：採点を行わず、審査員からの意見や助言等を提供すること

### イ 集客力向上モデル事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の合否を決定すること

### ウ 商店街地域資源活用事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の合否を決定すること

### エ 商店街空き店舗活用事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の合否を決定すること

## (3) 採点方法について

別添採点表に基づき、4項目×各5点=20点満点で評価を行います。

審査委員の合計が70%を超えるものを採択します。

(例) 審査員が6名の場合、120点満点中84点を超えるものを採択

### ⇒ 70%を超える事業

① 採択 (補助率2/3) (採択にあたって条件を付すものを含みます)

### ⇒ 70%以下の事業

② にぎわいづくりイベント事業に該当する事業 (販売促進を伴うイベント等の事業)

⇒にぎわいづくりイベント事業補助金の申請として受付 (補助率1/3)

## (4) 採点基準

4つの審査項目について5段階で評価します。

各項目とも「3」を採択基準ラインとします。

配点	審査項目への適合
5	審査項目の内容を十分に満たしている
4	⇕
3	審査項目の内容を概ね満たしている
2	⇕
1	審査項目の内容を満たしていない

# にぎわいづくりイベント事業 希望調書

資料 4

4月23日分

NO.	審査実施 時間	団体名	事業名
1	14:30 ~ 14:50	ドブ板通り商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀ドブサブFES2026</li> <li>・ハロウィンフェスティバル</li> <li>・ドブ板バザール&amp;横須賀トモダチジャズ</li> </ul>
2	14:50 ~ 15:10	若松商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀中央地区下町祭礼</li> <li>・街区内アーケード下等に提灯装飾事業</li> <li>・イルミネーション装飾事業</li> </ul>
3	15:20 ~ 15:40	ヨコスカダウンタウンクラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街市ーよこすか</li> <li>・キッズフェスティバル2026</li> <li>・ハロウィンフェスティバル2026</li> </ul>
4	15:40 ~ 16:00	一般社団法人リドレ商店会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LIDREマルシェ</li> <li>・LIDRE街角ライブ</li> <li>・LIDRE感謝祭</li> <li>・イルミネーション装飾事業</li> </ul>

令和 8 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調査

( にぎわいづくりイベント事業 )

○申請者

団体名	ドブ板通り商店街振興組合		会員数	69
住所	[REDACTED]		組織 形態	<input checked="" type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 任意
代表者	[REDACTED]			
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
	[REDACTED]	E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
( 1,188,884 円) 1/3 →	( 396,000 円)
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

商工相談員の派遣を希望する       商工相談員の派遣を希望しない

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1.	横須賀ドブサブ FES2026
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	※詳細は別紙にて記載
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	※詳細は別紙にて記載
実施時期	令和8年4月18日～7月20日
実施場所	ドブ板通り商店街区及び近隣観光施設
事業のセールスポイント	ドブ板通りから軍港めぐり、そして市内観光地を巡ることで横須賀の魅力再発見し、地域の活性化を図る。

報道関係者各位

2026年4月16日  
トブ板通り商店街振興組合

**【横須賀】海上自衛隊第2潜水隊群と商店街が連携  
潜水艦グルメ「サブドッグ」誕生、18店舗参加「トブサブ FES2026」4月18日開催  
— 潜水艦文化を活かした新たな観光コンテンツ創出 —**

トブ板通り商店街振興組合（理事長：越川昌光）は、海上自衛隊第2潜水隊群との連携により、潜水艦文化をテーマとした地域活性化イベント「潜水艦に会える街 横須賀 トブサブ FES2026」を2026年4月18日（土）より開催いたします。

本イベントでは、潜水艦内で実際に提供されているレシピをもとに開発した新グルメ「サブドッグ」を軸に、全18店舗によるスタンプラリーや認定グッズ販売を展開します。

軍港都市・横須賀の特色である潜水艦文化と商店街の魅力を掛け合わせることで、新たな観光誘客の創出と地域経済の活性化を目指します。

なお、開催に先立ち、2026年4月15日に第2潜水隊群とのパートナーシップ認定式を実施しました。

---

**■ 第2潜水隊群パートナーシップ認定式を実施**

認定式では、第2潜水隊群司令よりサブドッグ提供店舗に対し認定証書および認定潜水艦盾が授与されました。

また、認定グッズ販売店舗にも認定証書が授与され、地域と海上自衛隊が連携した公式プロジェクトとして、新たな地域振興の取り組みが本格的にスタートしました。

本取り組みは、地域資源としての潜水艦文化を活用した新たなブランド形成の第一歩となります。

認定式には、第2潜水隊群司令・1等海佐 中野聡をはじめ、幹部および各潜水艦の艦長が出席し、地域との連携強化に向けた新たな取り組みとして期待が寄せられました。



（写真：第2潜水隊群パートナーシップ認定式の様子）

---

**■ 第2潜水隊群司令 コメント**

第2潜水隊群司令

1等海佐 中野 聡

※例「本取り組みは、地域と海上自衛隊のつながりをより深める大変意義のあるものと考えております。潜水艦文化を通じて、多くの方に横須賀の魅力を感じていただければ幸いです。」

#### ■ドブ板通り商店街振興組合 理事長コメント

ドブ板通り商店街振興組合

理事長 越川 昌光

※前年のコメント「潜水艦グルメやミリタリーカルチャーの新たな発信地として、ドブ板通りはさらなる進化を遂げています。今回の企画を通じて、多くの方にドブ板ならではの魅力を知っていただきたいと考えています。」

---

#### ■潜水艦グルメ第2弾「サブドッグ」

「サブドッグ」は、潜水艦内で提供されているホットドッグのレシピをもとに、各店舗が独自に再現したオリジナルメニューです。

潜水艦をモチーフにしたインパクトのあるビジュアルとボリューム感のある内容が特徴で、横須賀の新たな名物グルメとして展開します。



(写真：サブドッグ)

---

#### ■18店舗参加 スタンプラリー企画

本イベントには、飲食店11店舗、小売店7店舗の計18店舗が参加します。

期間中は以下の企画を実施します。

- ・サブドッグ販売
- ・認定スペシャルグッズ販売
- ・スタンプラリー

スタンプラリーでは、対象店舗の利用によりスタンプを集めることで、ドブサブ認定スカジャン、Tシャツ、トートバッグなどのオリジナルグッズや特別体験が当たります。



ドブサブFES2026イベントポスター

(写真：イベントポスター)

---

#### ■地域×海上自衛隊による観光コンテンツ創出

本事業は、地域商店街と海上自衛隊が連携し、横須賀の特色を活かした観光コンテンツを創出する取り組みです。ドブ板通り商店街では今後も、交流人口の拡大と地域の魅力発信を目的とした企画を継続的に展開してまいります。本イベントは、潜水艦文化と商店街文化が融合した先進的な地域活性化モデルとして、継続開催も視野に入れていきます。

---

#### ■イベント概要

【イベント名】

ドブサブ FES2026

【開催日】

2026年4月18日(土)

【開催場所】

ドブ板通り商店街(神奈川県横須賀市)

【内容】

- ・潜水艦グルメ「サブドッグ」販売
- ・認定スペシャルグッズ販売
- ・スタンプラリー
- ・認定店舗巡り

【主催】

ドブ板通り商店街振興組合

【協力】

海上自衛隊第2潜水隊群

横須賀集客促進・魅力発信実行委員会

---

■取材のご案内

イベント当日の取材、認定店舗の個別取材、商店街風景の撮影対応が可能です。

取材をご希望の報道関係者様は、事前に下記までご連絡ください。

---

■

本件に関するお問い合わせ

トブ板通り商店街振興組合

広報担当：飯島

TEL：046-824-4917

E-mail：hungrys1356@gmail.com

---

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	PR TIMES・HP・SNS・タウンニュース		
広報範囲	全国	広報対象人数	50,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	前年度好評であったので参加店の拡大		
【目標】 商店街で掲げる目標			
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	5,000 人	通常時	人
今後の展開			
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	印刷費	110,000	スタンプラリー台紙
	広告宣伝費	33,000	PR TIMES
	委託費	22,000	デザイン料
	印刷費	6,129	シール代
	消耗品費	6,755	スタンプ
	広告宣伝費	66,000	HP情報更新料
合計	<del>177,884</del> → 243,884		

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	ハロウィンフェスティバル
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	市内高層街と連動し、横須賀高層街連合会が 作成予定のポスト、チラシ、ミニコミ誌等で 仮装親子が、10月の期間中、市内全域回遊 してもらう。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	① 会館前にこの、ハロウィン仮装者には、ハルーン <sup>無料</sup> プレゼントの実施 ② トッ板街匠をめぐりスタンプラリーの実施で 景品プレゼント。 ③ 会館前に、本街の仮装親子にキャンディープレゼント。
実施時期	令和8年 10月24日・25日
実施場所	トッ板通り街匠
事業のセールスポイ ント	ハルーン <sup>無料</sup> プレゼント、スタンプラリーで景品ゲット。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	SNS HPでの告知, 芝岡お祭り, タウン誌掲載		
広報範囲	HP告知 市内商店街芝岡お祭り	広報対象人数	15000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	中奥地区と連動するか. 昨年の雨天中止があり 予備日も準備。		
【目標】 商店街で掲げる目標	トア板通り街区に, スタンプラリーで足を運んでもらい, 商店街店舗を認知してもらう。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	3000人	通常時	1000人
今後の展開	フォトスポットを設置するか, フォトコンテストは実施する。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	報償費	40000	ハルーン
	"	12000	アルバイト 2名
	"	40000	菓子代
	"	15000	景品代
	印刷代	15000	スタンプラリー
	広告宣伝費	33000	HP情報更新
	合計	155000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
3	トブ板バザール & 横須賀トモチビヤス
実施目的 ・なぜ行うのか、 ・必要性 ・実施の経緯	恒例となった。ストリートJAZZホールから旧に： 何度モ往復し、人気撮影スポットとなり、来街者増大 と、トブ板通り内の路上ライブや、全店舗内の JAZZ演奏、
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ストリートJAZZホール</li> <li>○ 路上ライブ</li> <li>○ Dobuita Bourbon Street. 全店舗内</li> <li>○ 2025年は、70バンド・28組、                アクション・42組                70バンド 700名の出演した。</li> </ul>
実施時期	令和8年11月7日・8日
実施場所	横須賀中央～トブ板エリア、芸術劇場他
事業のセールスポイント	ジャズ発祥の地宣言により、市街地活性化

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	3			
広報手段	HP告知・チラシ・ポスター・冊子・FMヨコハマ			
広報範囲	市内・市外全域	広報対象人数	30,000人	
前年度からの改善 (定例事業の場合)	会員店舗でのライブ会場開催の増加			
【目標】 商店街で掲げる目標	期間中のトータルハザード、街中フリーマーケット 同時開催により、来街者の増大			
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	アーティスト・20向 700名 人	通常時	0人	
今後の展開	令和8年9月、芸術劇場のリニューアルオープンにちなみ 10月17日・18日にオープン記念イベントをニヤズ協会 と一緒にイベント開催を計画中である。 詳細が決まれば、商店街も協賛にてイベント実施?			
事業費と内訳	費目	金額	備考	
	広告宣伝費	100,000	チラシ掲載料	
	報償費	24,000	アルバイト代	
	広告宣伝費	66,000	HP情報更新料	
	委託費	600,000	イベント	
	合計	790,000		

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

令和 8 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調査

( にぎわいづくりイベント事業 )

○申請者

団体名	若松商店街振興組合		会員数	61
住所	[REDACTED]		組織形態	<input checked="" type="checkbox"/> 法人
代表者	[REDACTED]			<input type="checkbox"/> 任意
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
( 2,608,000 円) 1/3→ (	869,000 円)
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

<input type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望しない
--	--

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	横須賀中央地区下町祭礼 街区内アーケード下等に提灯装飾事業
<b>実施目的</b> ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	<p>物価の高騰が続いて消費者の買い控えと再開発による大型店の閉店による買い回り導線の寸断による来街者の減少の歯止め策として実施します。主催は町会行事ですが協賛して行ないます。</p> <p>祭りムードを盛り上げて新規来街者の確保と遠ざかった来街者を呼び戻すきっかけづくりとしたい。</p>
<b>実施内容</b> (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを具体的に記入)	<p>近隣の3商店街が連携して祭礼1週間前より中央大通りを中心にして統一感のある提灯装飾をアーケード下等に掲出して祭りムードを盛り上げてPRし事前告知効果による本番の来街者増を図りたい。</p> <p>町会主催のイベントですが活気ある商店街を演出して商店街活性化の一環として盛り上げたい。</p> <p>本番は5月23日(土)～24日(日)となり中央下町地区全体の祭礼です。</p> <p>祭礼イベントの来街者は20,000人(イベント参加者は約2,000人)となります。</p>
<b>実施時期</b>	令和8年5月18日(金)～5月24日(日)(1週間前より祭り提灯を掲出して盛り上げる)
<b>実施場所</b>	街区内アーケード下全てと街区内全域に祭り提灯を掲出する
<b>事業のセールスポイント</b>	子供からシルバー層までの全ての年代層が楽しめる祭りです。参加する方々や観覧する来街者の方々(国内外の観光客含む)が一体となり楽しんで頂ける祭礼のイベントです。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	1週間前より街区内を提灯装飾によるPR・ポスター・ホームページ		
広報範囲	街区内周辺エリア	広報対象人数	50,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	来街者をリピーターとして確保したい。		
	本年度は本組合の組合員が多く祭礼に参加して神輿を担ぎますので町		
	会との連携を密にして今後につなげていきたい。		
【目標】 商店街で掲げる目標	祭礼当日の飲食店関連店舗の売上を前年対比10%増加したい		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	20,000人	通常時	12,250人
今後の展開	来街者を呼び戻し賑わいを取り戻して商店街活性化の一環としたい。		
	駅前再開発によると来街者減の歯止めとしたい。		
	物価高の最中ですが来街のきっかけづくりに繋げたい。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	提灯装飾費	132,000	撤去費含む
	合計	132,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	イルミネーション装飾事業
<b>実施目的</b> ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	冬の夜の来街者を呼び戻す対策と新規来街者を獲得する魅力を発信し 再開発による駅前的大型店の閉店による買い回り導線の寸断による 来街者の減少と物価高が続いており買い控え状況の歯止めをかけたい。 来街者を呼び戻すきっかけづくりにしたい。 早期に活気ある商店街にするための対策として実施します。
<b>実施内容</b> (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	横須賀中央大通りを隣接4商店街が連携して一体感のあるイルミネー ション装飾を実施します。(省エネタイプLED電球を使用します) 夕方の4時30分頃に点灯し中央駅前を最終バスが発車後消灯します。 12月にはYデッキ周辺にてクリスマスライブ等を検討中です。 メインツリーにも新しい仕掛けを検討しています。 スマートフォンアプリを活用して斬新なフォトコンテストを実施する。 Yデッキ上や彫像ベンチを活用した関連装飾を検討しています。 イルミネーションの点灯式も検討したい。 1日平均の来街者を12,500人 前年対比2%増を目指します。
<b>実施時期</b>	令和8年11月1日(土)~令和9年3月中旬位迄
<b>実施場所</b>	本商店街内 (街路樹9本・メインツリー1本)
<b>事業のセールスポイ ント</b>	県道横須賀三崎線沿いの一直線に伸びた中央大通り両側に、下町4商店 街が連携した一体感のあるイルミネーションを演出します。迫力ある幻 想的なイルミネーション装飾です。多くの来街者に回遊して貰います。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	ポスター・ホームページ・地域紙 等		
広報範囲	市内全域	広報対象人数	200,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	来街者参加型の斬新な仕掛けを創りたい。(フォトコンテスト)		
	更に電球数を増球してより明るく幻想的にしたい。		
	メインツリーに新しい仕掛けを造りたい。		
【目標】 商店街で掲げる目標	各店舗に売上額 2% 増加		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	12,500人	通常時	12,250人
今後の展開	4商店街が連携して来街者が各商店街を回遊し売上増に繋げたい。		
	来街者参加型の新しい仕掛けを創りたい。		
	物価高の最中ですが来街のきっかけづくりに繋げたい。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	イルミネーション装飾	2,476,000	撤去費含む
	合計	2,476,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい



※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	街市 - よこすか
<b>実施目的</b> ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	以下の施策により、横須賀中央地区の恒常的なにぎわいを創出する。 ・本年度は、同事業を4回実施する。開催回数を維持し、にぎわいの再現性を高める。 ・各回、中央大通りを挟んだ最大40ブース規模の出店誘致を目論む。 開催規模を維持し、にぎわいを演出する。
<b>実施内容</b> (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを具体的に記入)	以下の属性や目的を持つ企業・団体・個人(出展者)を最大40ブース※誘致する。 ※1ブースは2×2mであり、テントにより分けられる。 ・横須賀にゆかりのある出展者 ・自社製品・サービスの販売・PR ・マルシェ ・ワークショップ ・団体活動のPR など
<b>実施時期</b>	令和8年4月19日、6月14日、10月中、11月中
<b>実施場所</b>	リドレ横須賀、三笠ビル商店街
<b>事業のセールスポイント</b>	・本年度は第34回～第37回の開催を実施予定であり、横須賀中央地区に定着した事業となっている。 ・中央大通りを挟み40ブース規模で実施する本事業は、視認性も良くにぎわい創出に寄与している。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	チラシ（新聞折込・配架等）、ポスター、SNS（Instagram）ほか		
広報範囲	横須賀市内※ ※他の事業の広報と兼ねる	広報対象人数	7,000～12,000人※ ※チラシベース
前年度からの改善 （定例事業の場合）	・統一感ある装飾をブース（テントなど）に施す		
	・飲食スペース（ブース）を設けるなど、滞留時間を増やす		
【目標】 商店街で掲げる目標	商店街加盟店舗の売上げ向上に寄与する：1～2%程度		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	200～500人	通常時	-人
今後の展開	昨年度から、「よこすか street マルシェ」と銘打ち、外部協力者と協働することで、本事業を強化し、出店者数を大幅に増強することを 実現したが、今後は当事業の知名度を更に浸透させるために、SNS等 を活用し広報に注力したい。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	制作費	200,000	人件費、装飾費、広報費等※  ※弊会他事業（キッズフェスティバル、ハロウィンフェスティバル）で実施する「街市」には含まれない費用を計上する。（主として、6月開催分）
合計	200,000		

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	キッズフェスティバル 2026
<b>実施目的</b> ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	・12年前から実施しており、市民からの期待値の高い弊会の主たる 事業として位置づけている。 ・子供を中心とした、親子、祖父母の3世代の来街・集客を商店街 の再認知、消費につなげる。
<b>実施内容</b> (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<u>Yデッキ下広場</u> ・Yokosuka Dance FUNK Vol.5 (キッズダンスショー、ダンスバトル 等) <u>リドレ横須賀～三笠ビル商店街 会場</u> ・街市-よこすか                      ・よこすか street マルシェ ・ヨコスカダウンタウンストリート・リドレ街角ライブ <u>市役所前公園</u> ・走り方教室 (元日本代表が教える走り方教室・誰でも20m走測定) <u>かながわ信金前会場周辺</u> ・ガラポン抽選会 (商店街の逸品など、豪華賞品が当たります！) ・企業出展 (神奈川トヨタ自動車) ・全かなスリッパ卓球選手権大会 2026 横須賀三浦地域予選会  他、完走するとガラポン抽選会への参加やトレカをゲットできる、スタン プラリーを実施
<b>実施時期</b>	2026年4月19日(日)
<b>実施場所</b>	Yデッキ下広場、リドレ横須賀、三笠ビル商店街、市役所前公園 他
<b>事業のセールスポイ ント</b>	ダンスイベントや走り方教室、スリッパ卓球、スタンプラリーなど子供 たちが横須賀の中心市街地を舞台に楽しめる企画を多数実施します。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	チラシ（新聞折込・配架等）、ポスター、SNS(Instagram) ほか		
広報範囲	横須賀市内	広報対象人数	12,000 人※ ※チラシベース
前年度からの改善 (定例事業の場合)	市役所前公園を活用し、「未来を発見する」をテーマにスポーツを 社会貢献のツールとする法人様と協働し「子供向け体験型コンテンツ」 を強化した。		
【目標】 商店街で掲げる目標	商店街加盟店舗の売上げ向上に寄与する：3～4%程度		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	2,000 人	通常時	— 人
今後の展開	今回は調整つかず実現できなかったが「職業体験」型の企画を誘致し、 「子供向け体験型コンテンツ」を充実させたい。		
事業 費 と 内 訳	費目	金額	備考
	制作費	400,000	人件費、装飾費、申請費 等
	広告宣伝費	350,000	チラシ、ポスター、SNS 広告 等
	報償費	250,000	抽選会景品購入費、企画誘致費用 等
	会場借り上げ料	50,000	駐車場料金、会場使用料 等
	雑費	50,000	振込手数料、保険料 等
	合計	1,100,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
3	ハロウィンフェスティバル 2026
<b>実施目的</b> ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い層から支持されている、国民的行事となったハロウィンの需要を横須賀中央地区に呼び込むことを企図します。</li> <li>・また、この時節は「スポーツ」「食欲」「文化」とヨコスカダウンタウンクラブ独自の企画にコンセプトを設けやすく、広く市民に対して当事業を訴求し、上記との相乗効果を企図します。</li> </ul>
<b>実施内容</b> (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<p>恒例の企画である、横須賀中央地区を回遊し商店街の再認知・新たな発見を促す「スタンプラリー」や、組合員店舗への来店きっかけをつくる「商店街の逸品の当たるガラポン抽選会」を実施する。また、同抽選会では、子供たちや仮装をした方を無償参加の対象とし、商店街の逸品の当選の他にもお菓子の配布(当選)も実施します。</p> <p>また、他の事業でもベースラインの集客コンテンツとして実施している「Yokosuka Dance FUNK」や「街市・よこすか street マルシェ」、他にも、「スポーツ」「食欲」「文化」のいずれか、または複数テーマとしたコンテンツを実施予定です。</p>
<b>実施時期</b>	2026年10月実施予定
<b>実施場所</b>	Yデッキ下広場、リドレ横須賀、三笠ビル商店街、かながわ信金前 他
<b>事業のセールスポイント</b>	<p>ガラポン抽選会で実施する無償参加の他にも、仮装した来場者向けに様々なサービスを設ける予定です。また、ダンスイベントやマルシェ、街角ライブではハロウィン仕様で実施し目を楽しませます。</p>

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	3		
広報手段	チラシ（新聞折込・配架等）、ポスター、SNS (Instagram) ほか		
広報範囲	横須賀市内	広報対象人数	7,000 人※ ※チラシベース
前年度からの改善 （定例事業の場合）	人気コンテンツ（ダンスイベント）を駅前広場に配置しているため、 人流の滞留が起きていた。MCに当事業全体の告知や無償で抽選会に 参加できる条件の案内に協力いただき会場全体の人流を最適化したい。		
【目標】 商店街で掲げる目標	商店街加盟店舗の売上げ向上に寄与する：3～4%程度		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	2,000 人	通常時	— 人
今後の展開	今年は、冬季オリンピック、WBC、ワールドカップなどスポーツ行事 が開催され、来年は横浜で万博が開催される。これら国民的関心事は 「スポーツ」「文化」面で秋のイベントと親和性が高く、これらの 要素を事業に取り込むことで、中央地区のにぎわいの呼び水としたい。		
事業 費 と 内 訳	費目	金額	備考
	制作費	400,000	人件費、装飾費、申請費 等
	広告宣伝費	350,000	チラシ、ポスター、SNS 広告 等
	報償費	250,000	抽選会景品購入費、企画誘致費用 等
	会場借り上げ料	50,000	駐車場料金、会場使用料 等
	雑費	50,000	振込手数料、保険料 等
	合計	1,100,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

令和8年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調査

( にぎわいづくりイベント事業 )

○申請者

団体名	一般社団法人リドレ商店会		会員数	21
住所	[REDACTED]		組織 形態	<input checked="" type="checkbox"/> 法人
代表者	[REDACTED]			<input type="checkbox"/> 任意
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
( 6,000,000 円) 1/3→ (2,000,000 円)	
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
	(千円未満切捨て)

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行いますが、その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

<input type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望しない
--	--

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	LIDRE マルシェ
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	地元の新鮮で美味しい農産物、水産加工品や畜産加工品などを生産者が中心となりマルシェスタイルで販売する。横須賀中央エリアの中心市街地活性化を目指し下町商店街及びLIDRE 横須賀の賑わいの創出を目的とする。生産者が、地元のお客様に三浦半島でとれたものを食べてもらいたい思いを実現するために継続開催をして10年になる。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを具体的に記入)	三浦半島の農家の新鮮な野菜、地元食材を使った手作り弁当を生産者、料理研究家が販売する。LIDRE 入口風除室にて開催。雨天、強風時でも開催できお客様も足を止めてくれる。月1回の定期開催により着実にお客様が増加傾向で今後も継続する。 『YOKOSUKA ダウンタウン ストリート』を開催。 LIDRE マルシェ、街角ライブ、街市、フリーマーケットを同時開催しLIDRE 周辺の商店街と共催でより多くの集客をはかれた。 今年度もさらに内容を強化して開催する。 山形県の農産物販売も好評で干し柿を中心に前年度7日間開催した。 本年度も第4回目を開催予定。
実施時期	月1回の開催(野菜の端境期はなし)
実施場所	LIDRE 横須賀 メインエントランス エスカレータ脇、風除室
事業のセールスポイント	三浦半島の農家の新鮮な野菜中心に生産者自ら販売する。珍しい食材も生産者が、調理、食べ方を丁寧に説明してくれる。また、新鮮な三浦半島の野菜を使用した手作りのお弁当の販売も行う。 (にぎわいづくりイベント事業)

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	館内デジタルサイネージ、FB 他		
広報範囲	横須賀市中心 一部神奈川県内。	広報対象人数	10,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	三浦半島食彩ネットワークのメンバー中心の開催。		
	野菜中心ですが、加工品も加えてバラエティーに富んだ展開を		
	プラスします。		
【目標】 商店街で掲げる目標	三浦半島の新鮮野菜を地元のお客様に直接販売することを継続開催する。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	200人/1開催当たり	通常時	0人
今後の展開	『YOKOSUKA ダウンタウン ストリート』を充実させ		
	継続開催を実現し、横須賀中心市街地の活性化を図り横須賀中央が		
	にぎわいの溢れる楽しい街になるよう展開していく。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	事業費	200,000	
	販売促進費	100,000	
	合計	300,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付してください

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	LIDRE 街角ライブ
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	横須賀市の「音楽があふれる、ワクワクする街へ」 ヨコスカ街なかミュージックの一環として『LIDRE 街角ライブ』を 開催する。2016年4月にオープンして以来、10年間継続開催して いる。中心市街地の活性化には、とても効果的な企画でこれからも 継続する。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	① LIDRE 街角ライブ ヨコスカ街なかミュージック登録アーティストを中心に企画。 ハロウィン、トモダチジャズ、いーちゃ・イチャフェス他と連携。 『YOKOSUKA ダウンタウン ストリート』にて拡大開催。 ② YouTube (店頭デジタルサイネージ) でのLIDRE 街角ライブ コロナ禍でライブの開催ができず、映像を作成してYouTube& 店頭大型モニターにて配信してきた。 今後も横須賀の歴史ある風景、建物などを地元のミュージシャンの 音楽と共に制作し配信する。 <a href="https://www.youtube.com/@lidreyokosukachannel2339">https://www.youtube.com/@lidreyokosukachannel2339</a>
実施時期	2026年4月1日～2027年3月31日
実施場所	LIDRE 店頭特設ステージ、YouTube、1階エントランス大型モニター
事業のセールスポイント	「音楽があふれる、ワクワクする街へ」 ヨコスカ街なかミュージックの一環として 『LIDRE 街角ライブ』を2016年より継続開催

(にぎわいづくりイベント事業)

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	.2		
広報手段	はまかぜ、タウンニュース、神奈川新聞、店頭チラシ、ポスター掲示、デジタルサイネージ、フェイスブック他		
広報範囲	横須賀市内を中心に 一部神奈川県内。	広報対象人数	20万人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	10周年のアニバーサリーを開催。5/2、8/8、9は、会場をYTYに移して、		
	10年間お世話になったアーティストを中心に記念ライブを開催する。		
	特に8月は野外での開催が猛暑のため危険なため、ライブハウスにて開催する。		
【目標】 商店街で掲げる目標	「音楽があふれる、ワクワクする街へ」の継続開催をするとともに ジャンルにとらわれないパフォーマンスで中心市街地活性化を目指す		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	300人/1開催	通常時	0人
今後の展開	ハロウィン、トモダチジャズ、いーちゃ・イチャ他のイベントとも		
	連携しながら内容を充実させ魅力あるイベントに育てる。		
	10周年を迎え、更なる企画を練り実行したい。		
	下町商店街で、のど自慢大会も実現したい。(衣笠商店街を参考に)		
事業費と 内訳	費目	金額	備考
	事業費	3,000,000	
	販売促進費	500,000	
	合計	3,500,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付してください

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
3	LIDRE 感謝祭
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	<p>開業 10 周年を迎えるため、日ごろの感謝の気持ちを込めて実施する。</p> <p>LIDRE の PR 及び中心市街地活性化に繋がるよう企画実行する。</p> <p>2016 年 4 月、開業以来、継続して実施し定着した。</p> <p>10 周年のアニバーサリーとして、今後も感謝を込め継続して開催いたします。</p>
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<p>4/15 (水) LIDRE 大抽選会開催</p> <p>LIDRE にて当日お買い上げのお客様、先着 2,000 名様に抽選券配布。</p> <p>リドレ商品券総額 50 万円分、ベ이스ターズペア観戦チケット、            防災関連グッズ等、豪華賞品が当たる大抽選会を開催した。</p> <p>2026 年度 10 周年感謝祭時は、景品数 2000 個を用意した。</p> <p>10 周年の LIDRE オリジナルペットボトルホルダー、            LIDRE オリジナルドレッシングなども用意した。</p> <p>昨年実施した、10 周年企画のフォトコンテストの受賞作品の            展示も館内で行っている。</p>
実施時期	2026 年 4 月 15 日 (水) ~21 (火)
実施場所	LIDRE 横須賀 1 階エスカレータ横
事業のセールスポイント	<p>LIDRE 感謝祭は、継続開催により名物企画として浸透し多くのお客様の来館が期待できる。魅力ある商品、商品券 (2 か月間有効) を賞品とすることで、新しいお客様の獲得、再来店の機会創出が期待できる。館が一体となり『お客様に感謝のおもてなし』を心がける。</p>

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

(にぎわいづくりイベント事業)

事業 NO.	3		
広報手段	はまかぜ、タウンニュースに掲載。館内デジタルサイネージ掲出。ポスター店頭掲出、イベント開催時、テナントにてチラシ配布。広告新聞折込 10,000部		
広報範囲	横須賀市、三浦半島	広報対象人数	25万人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	賞品にLIDRE オリジナルグッズを用意して10周年の感謝とする。		
	話題のベ이스ターズペア観戦チケットなど新規顧客獲得を目指し		
	テナント買廻り効果も期待できる。		
【目標】 商店街で掲げる目標	抽選会参加者 2,000人		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	6,000人	通常時	4,000人
今後の展開	さらに工夫をして継続して毎年開催する。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	事業費	800,000	
	販売促進費	200,000	
	合計	1,000,000	

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
4	イルミネーション・装飾事業
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	中央下町地区商店街の活性化と賑わいの空間づくりを目的に、 横須賀市の掲げる『音楽があふれる、ワクワクする街に』をテーマに 装飾を行なう。 中央下町地区商店街の活性化と賑わいの空間づくりを目的に装飾する。 本年も継続して実施する。
施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	横須賀中央イルミネーション協議会にて実施 若松商店街振興組合、三笠ビル商店街協同組合 大滝商店街振興組合、一般社団法人リドリ商店会 Yデッキ 駅前メインツリー 中央大通り樹木 36本 モアーズ前 2本 計38本 フォトスポットを設け、フォトコンテストを継続実施予定。 LIDRE 正面入口装飾は、来年の開業10周年を記念して、三浦半島 をテーマに中西 隆浩(なかにしたかひろ)先生に作成を依頼した。 プロフィール <a href="https://www.aquarld.com/">https://www.aquarld.com/</a>
実施時期	2026年12月1日~2027年3月31日
実施場所	横須賀中央Yデッキ~バス通り大滝町まで
事業のセールスポイント	イルミネーションで街を美しく輝かせ、街行く人に笑顔を与える。 フォトコンテストの開催によりInstagramで開催のPRができ関心が高まり集客に期待ができる。 (にぎわいづくりイベント事業)

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	4		
広報手段	はまかせ、タウンニュース、神奈川新聞、店頭チラシ、ポスター掲示、デジタルサイネージ、HP、フェイスブック他		
広報範囲	横須賀市内を中心に 一部神奈川県内。	広報対象人数	16万人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	前年に少しずつでもLED球数を増加していくよう予算面で工夫する。		
	フォトコンテストのPRを充実し、継続開催することで集客増を		
	図る。		
【目標】 商店街で掲げる目標	イルミネーションで街を美しく輝かせ、街行く人に笑顔を与える。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	人	通常時	人
今後の展開	横須賀中央イルミネーション協議会にて、イルミネーションを		
	毎年継続開催し、市民に親しまれるよう工夫していく。		
事業費と 内訳	費目	金額	備考
	事業費	1,200,000	
	合計	1,200,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい